こじ成語の 意味 2

ふつう ★★☆ ・ もとの 話から こじ成語を えらぶ

耳
ことわざ

話の 様子を
思いうかべよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 もとに なった 話に 合う こじ成語を えらんで、□に 記ごうを 書こう。

㋐ 蛇足（だそく）
㋑ 杞憂（きゆう）
㋒ 五十歩百歩
㋓ 漁夫の利
㋔ 推敲（すいこう）
㋕ 矛盾（むじゅん）

1 「どんな たても つき通す ほこ」と「どんな ほこも ふせぐ たて」を 売る 人が、「その ほこで その たてを ついたら？」と 聞かれて 答えられなかった。 □

2 へびの 絵を 早く かく 競争で、一番に かき終えた 人が、へびに 足を かき足して 負けた。 □

3 しぎ（鳥）と はまぐり（貝）が あらそって いる 間に、通りかかった 漁師（りょうし）が 両方とも つかまえた。 □

4 戦いで 五十歩 にげた 兵士（へいし）が、百歩 にげた 兵士（へいし）を わらった。 □

5 ある 国の 人が、天が 落ちて こないかと 心配して、ねむれなく なった。 □

6 ある 詩人が、詩の 中の「門を おす」と「門を たたく」の どちらの 言葉が よいか、なやみつづけた。 □

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことわざ ・ つぎは 「こじ成語を 使おう」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）